

開催記録

名 称	第 8 回 振興計画町民検討会議
開催日時	平成 22 年 2 月 10 日 (水) 午後 7 時～午後 9 時
開催場所	会津美里町役場高田庁舎 第 3 会議室
出席者	<p>【委員】 荒井弘之、渡辺秀造、歌川浩司、大竹久一、片山紀彦、片山玲子、佐藤正人、塩田光顕、石川栄子、野中憲子、鈴木幸信、石橋史敏、薄 謙一、根本昌志、馬場清志、根本謙一</p> <p>【事務局】 佐藤総合政策課長、木崎総合政策係長、渡部朋宏、榎森正典、大竹さおり、弓田総務課長、遠藤香 (総務課)</p>
議 題	①わがまちの財政状況について ②座長・副座長の選出について
資料の名称	○会津美里町の財政指標について ○市町村財政比較分析表 (平成 19 年度普通会計決算)
記録方法	<input type="checkbox"/> 会議全文 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) わがまちの財政状況について</p> <p>《質疑》</p> <p>【委員】 会津美里町の借金の総額は？</p> <p>【事務局】 平成 20 年度末で一般会計が約 147.6 億円、特別会計が約 73.7 億円、合計約 220 億円となる。この中には臨時財政対策債も含まれるため、実質的な借金は約 185 億円になる。このうちの 6 割程度は後年度に交付税により措置される。借金が多い理由としては、国営会津宮川土地改良事業債がある。現在約 44 億円の償還及び負担金が残っているが、一方で約 26 億円の基金 (積立) がある。</p> <p>【委員】 この状況を見れば、町民の要望にすべて答えられる状況にはない。行政ができることと町民にやってもらうことを明確に示すべきではないか？</p>	

【事務局】 第2次振興計画ではそれぞれの施策について、行政の役割、町民の役割といった役割分担を明確にしていく。

【委員】 ロジックモデルを示して実施してほしい。

【事務局】 現在、行政評価システムを導入しており、評価のロジックを明確にして実施している。

【委員】 今年は、国から多くの金が地方へ来ているようだが、今後どうなるかは不明だろう。そのあたりを十分ふまえた財政運営が必要では？

【事務局】 経済対策として約10億円が町にきている。この財源はすべて借金。将来を見据えた財政運営を考えていかなければならない。

【委員】 一言で言えば「大変だ!」。支出の仕分け的な検討も必要ではないか?本当に町民の幸せのために使われたお金なのか?職員の人件費も一般町民からみれば高いと思う。ただお金がないではなく、中身の細かな検討が必要ではないか。町としての考え、町民一人一人の考えもしっかりしていかなければならない。

【事務局】 借金は少しずつ減らしていく。限られた財源をいかに有効に使っていくか。交付税の状況をふまえれば自主財源の確保が大きな課題。また、行政評価の観点からの事務事業の見直しも行っている。外部評価についても今後導入していきたい。

【委員】 企業会計に準じた決算資料はないのか?

【事務局】 貸借対照表など4つの財務諸表の作成準備を進めている。平成22年度早々には(全部は難しいかも知れないが)公表したい。

【委員】 町内に働く場所が少ない。高田や新鶴の工業団地もあいている。一方で、このような状況では製造業も厳しい。美里町らしい企業誘致をしていかなければならないのでは?

【事務局】 商工観光課を設置するなど企業誘致に力を入れた取組みは行っているが、なかなか困難な状況である。

【委員】 借金返済に対する基本的な方針は怎么样了のか?

【事務局】 第2次振興計画では目標値を明確にすることとしている。具体的な指標で、目標値を設定していく。借金はなくなればいいのだが、現在の制度は、借金の財源が交付税措置されるものもあり、徐々に借金を減らしていく考えである。

【委員】 事業仕分け的なもの。国の事業仕分けによって多くの国民が関心を持ったことが重要。町民の関心が町政に向くようにしていくことが必要では?

【事務局】 現在は行政評価を導入しており、外部評価や評価会議の公表など町民が関心を持ってもらうような仕組みを考えていきたい。

(2) 座長・副座長の選出について

座長：荒井弘之

副座長：片山紀彦

3. その他

- ・次回の会議日程

平成 22 年 2 月 24 日（水曜日）午後 7 時～9 時 高田庁舎第 3 会議室

土地利用構想について（ワークショップ）

4. 閉会